

アメリカで考える ボーディングスクール という選択肢

ボーディングスクールとは、生徒がキャンパス内の寮で生活しながら学ぶ学校です。学業だけでなく、寮生活や課外活動、先生や友人との関わりを通して、自立心や責任感を育てていく教育環境です。



フランコリーニ 律江
Boarding School Access Founder

アメリカのボーディングスクールを検討するご家庭に向けて、学校選びから出願準備までをサポート。自身の子どもたちの経験を活かし、生徒様とご家庭に寄り添い、一人ひとりに合った学校選びを丁寧にお手伝いしています。

Q1 ボーディングスクールとは、 どのような学校ですか？

一言で言うと、生徒がキャンパス内の寮で生活しながら学ぶ学校のことですが、単に寮がある学校というだけではありません。授業だけで一日が終わるのではなく、寮での生活、課外活動、先生や友人との関わりまでが、学校生活の一部として組み込まれています

授業の外でも教職員が寮の担当としても生徒と関わり、学校全体で生徒の成長を見守る仕組みがあります。ボーディングスクールは、大学進学のための準備のための場所ではなく、お子様が自分に合った環境の中で学び、生活し、自立していくための教育の選択肢の一つです。

Q2 ご家庭がボーディングスクールに 関心を持つ理由は何ですか？

私が生徒ご本人やご家族とお話ししていて感じるのは、関心が英語力や大学進学だけに限られないということです。文化や考え方の異なる友人と日常を共にしながら、自分の意見を伝え、相手の考えも受け止める経験をしてほしいという思いをお持ちのご家庭も多くあります。

アメリカで教育環境を考えるご家庭にとっても、家庭とは違う環境で、お子様が学習への向き合い方や、人との関わり方を自分で考える経験には大きな意味があります。



Boarding School とは



キャンパス内の寮で生活しながら学ぶ



授業・寮生活・課外活動が一体になった環境



先生やスタッフが日常生活でも生徒を支える



自立心、責任感、コミュニケーション力を育てる



Q3

どのようなお子様に
向いていますか？

好奇心があり、新しい環境に挑戦したい気持ちを持っているお子様は、ボーディングスクールの環境に前向きに関わりやすいと思います。自分から動く場面が多いからこそ、自主性や表現力も少しずつ育っていきます。

ボーディングスクールでは、レクチャー形式の授業だけでなく、生徒同士が意見を交わすディスカッション形式の授業が多いのも特徴です。最初から完璧にこなせる必要はありません。むしろ、自分の考えを持ち、それを少しずつ言葉にしていく過程そのものが学びになります。



Q4

学校選びや出願準備では、
何を意識すべきですか？

一番大切なのは、ご本人の意思です。ご家族が良いと思う学校でも、実際にその環境で生活するのはお子様自身です。

そのうえで、お子様に合った学校、いわゆる「right fit」を見つけることが重要です。ランキングや大学進学実績は参考になりますが、ボーディングスクールでは、生徒は毎日その環境の中で生活します。寮の雰囲気、先生との距離、友人関係、週末の過ごし方、学校全体のカルチャーまで含めて、お子様に合っているかを見る必要があります。

出願準備は、できるだけ早めに始めることをおすすめしています。6年生ごろから選択肢として考え始め、7年生には出願に向けた具体的な準備に取りかかると、余裕を持って進めやすくなります。

Right Fitとは

ランキングや知名度だけでなく、お子様の性格、興味、学び方、寮生活との相性、サポート体制など、多面的に見て「その子に合う環境」を見極めること。

Q5

Boarding School Accessの
ミッションを教えてください。

Boarding School Accessのミッションは、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、最適な教育環境を見つけることです。

私自身、子どもたちのボーディングスクールでの経験を通して、寮生活で育つ力は成績だけでは測れないと感じてきました。日々の生活の中で自分と向き合いながら、時間管理能力や自立心、責任感が育まれていきます。

Boarding School Accessでは、生徒とご家庭に寄り添いながら、学校選びから出願準備までを丁寧にサポートしています。



お気軽にご相談ください。



Boarding School Access



info@boardingschoolaccess.com



www.boardingschoolaccess.com

ウェブサイトはこちら

